

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	看護職キャリアシステム構築プラン		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	高等教育局		担当課室	医学教育課大学病院支援室		大学病院支援室長 玉上 晃
会計区分	一般会計		上位政策	「個性が輝く高等教育の振興」 「大学などにおける教育研究の質の向上」		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	体系立てられた教育システムがなく、臨床現場で指導看護師個々の方法で行われている等の教育上の問題を解決するために、大学病院と自大学看護学部等が連携して、効果的な臨床研修の方法や体制を開発し、看護職や看護学生が効率的・継続的に専門能力の習得と向上を図れる教育体制を整備する事により、安心・安全な医療提供体制の構築や、チーム医療への貢献を果たす。					
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	教育・研究機関である大学病院と看護学部等が連携し、看護実践教育において効果のある教育プログラムや教育研修体制を、学問的検討を経て開発するとともに、高い教育技術を有する教育担当看護師の養成・配置、また医療技術を習得・向上させるための練習用シミュレーター(医療技術訓練のための模型・装置)の整備等を行い、看護師及び看護学生の実践能力の向上を図る。 (補助率: 定額補助)					
実施状況	8大学病院で実施					
予算の状況 (単位: 百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	202	302	286
	執行額	-	-	202		
	執行率	-	-	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	224		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、各大学における支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・また、必要に応じて各大学に対する現地調査を実施したり、実績報告書等のみでは確認が不十分な場合に契約関係書類を別途個別に提出させる等により、各大学における支出先・用途の把握を万全のものとしている。 ・さらに、事業開始から3年目の平成23年度に外部委員による中間評価を行い、事業の実施状況をチェックする予定。 				
	見直しの 余地	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年6月に、中央教育審議会大学分科会大学行財政部会において、国公立を通じた大学教育改革支援プログラムの事業の在り方について検証が行われ、「明確な教育目標、修得すべき知識・能力の体系を備えた学位プログラムを提供する取組への支援を強化」するとともに、「社会的要請が高く、大学教育政策として優先順位が高いものを分かりやすく提示し、重点的に支援」、「他の競争的資金等との目的の違いを明確化すること」、「教育取組の成果・効果を図る指標の明確化」や、「成果や進捗状況を踏まえ、適宜、見直しを行う仕組みの構築」等が求められたことから、その見直しの方向性に即した事業の推進を検討して参りたい。 ・各大学の取組内容・成果について、文部科学省や大学のホームページへの掲載、各種フォーラムの開催等を通じて、全国の大学へ普及・展開を図っているところである。今後は、本事業の成果報告書の取りまとめや、検証を通じて、我が国全体としての大学改革に資するよう更なる成果の普及・展開等に努めて参りたい。 ・事業開始から3年目の平成23年度に外部委員による中間評価を行い、必要に応じてより多くの成果を引き出すための事業内容の見直し等を行う。 				
予算・ 監視の 所見 率化	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、大学病院と自大学看護学部等が連携して、効果的な臨床研修の方法や体制を開発し、看護職や看護学生が効率的・継続的に専門能力の習得と向上を図れる教育体制を整備することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、事業の在り方の観点から検証を行う。</p> <p>2. 所見：本事業については、昨年度の事業仕分けにおける「大学の先端的取り組み支援」等の評価結果や大学行財政部会での議論等を踏まえ、事業内容・成果等を検証し、その成果の普及に一層努めつつ、対象経費の絞り込み等により予算を縮減すべきである。</p>					
補記						

文部科学省
202百万円

諸謝金 0.9百万円 }
委員等旅費 1百万円 } を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。



【公募・補助】

A. 大学(全8大学)
総額 200百万円

看護実践教育において効果のある教育プログラムや教育研修体制を開発し、看護師及び看護学生の実践能力の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.東北大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	看護師5人、助教1人、諸謝金	14			
物品購入費	ナーシングアンマネキンセット、非接触型静脈可視化装置	4			
消耗品費	シミュレーション教育用品、机、椅子等	4			
その他	旅費、印刷製本費、会議費等	3			
計		25	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名: 看護職キャリアシステム構築プラン

(支出先ブロックA)

	支出先	支出額(百万円)
1	東北大学	25
1	東京医科歯科大学	25
1	新潟大学	25
1	滋賀医科大学	25
1	岡山大学	25
1	九州大学	25
1	京都府立医科大学	25
1	慶應義塾大学	25
合計		200